

番号	氏名	抱負
191	能登 公也	学会が目指す国際化と標準化について、平等且つ公正な立場で客観的な判断により、公益社団法人としての社会の役割を円滑に果たせるよう尽力したいと考えております。
192	信田 修吉	日々進歩を続け、対応する範囲を広げる放射線技術や装置、また、医療情報に関連する技術等の発展により、これまで以上に安全で精度の高い診断や治療が行えるようになると思います。それらについて研究発表会の開催、学会誌の刊行など、様々な取り組みを通し寄与している日本放射線技術学会の活動に貢献したいと思います。
193	野水 敏行	多くの研究者とともに放射線技術学関連の更なる研鑽を進め、撮影のためのエビデンスの構築とその普及を目指したい。そのための若い研究者や地方の研究者への協力や支援、および、研究者同士の協力関係いわゆる「出会い」・「つながり」を演出する一助が出来ればと考える。また、将来の学会の方向性や運営に関して先輩諸兄等と良き検討を行い、学会発展のために寄与していきたいと考えている。
194	萩原 芳広	
195	橋田 昌弘	(論文化)発表総数に比べまだまだ論文数が少ない。RPT誌も含め論文化を推進する。(総会の国際化)4月のJRCを「アジアのRSNA」にしてアジアからの演題発表に力を入れるべきである。そのために、英語での発表に力を入れる。(アジアとの交流)上記のために、アジア各国の学会と連携し日本からの発表を増やす。(地方での活動)論文を書く若手研究者育成のために部会活動を活性化させる。
196	橋本 廣信	医療画像技術の高度化に伴い、専門的な知識と技術が要求され、論理的な証拠に基づいた知識及び技術が医療現場要求される様になり、これらの現状を踏まえ、法改正等に必要エビデンスの作成並びに指針の作成等にも積極的に関与或は指導し放射線検査・治療等の安心・安全を担保する法体系の整備にも深く関与すること社会的な貢献が求められている。代議員に立候補して学会に協力及び役割を微力ながら貢献していきたいと思っております。
197	羽手村 昌宏	
198	林 直樹	
199	林 則夫	私は現在、撮影分科会の委員を任されています。MR専門技術者であることを生かしてMRIの撮像技術の発展と普及のために適したセミナーや講演などを分科会の一員として企画、立案しています。また関東部会の一員として部会での活動も行っています。これまでに培った専門性を全国の学会員へ貢献できるように、またそれに伴って新たな学会員の獲得、放射線技術学の発展に貢献したく代議員へ立候補いたします。
200	林 秀隆	日本放射線技術学会は、事業のあり方を含め大きな変革を行う時期を迎えていると感じています。国際化を推進する方針と会員意識の融合を図ることが大切であり、これから求められる会員サービスのあり方について議論を深め、さらに資源を有効に活用して合理化を推進することで独自性の高い魅力ある学会に育てていく必要があると考えています。総務委員及び部会役員として前向きに発信していきたいと考えています。